

授業科目名	化学基礎			開講年度・時期	2026年度 導入期
担当者名	浦 家 淳 博	単位数	1	総校時数	30
担当教員 実務経験					
授業の方法	講義 演習 実験 実習 実技 その他（講義・演示・計算演習・実習併用）				
授業の内容 （授業科目 の概要）	掘削関連の事項についての学習を行う上で必要と考えられる化学分野について基礎的な知識の確認・整理を行うとともに材料管理についての心得えを養う。				
年間の授業 計画（授業 の回数やス ケジュール）	元素と周期表(2校時) 様々な物質(4校時) 化学反応(4校時) 化学反応式(4校時) 物質の熱的性質(4校時) 気体状態方程式(4校時) 危険物とその性質(4校時) 危険物法令(4校時)				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎的な知識を整理し、工学的なものの見方を身につける。</li> <li>・工学的な知識が応用された技術や機械・機材についての興味を養う。</li> <li>・仮説を立てて物事を考えることができる。</li> </ul>				
成績評価の 方法・基準	次の項目を総合的に勘案して評価する。ただし、出席時数が授業時数の3分の2に達しない者は評価を受けることができない。 1 課題についての提出物（レポート） 2 授業中の取り組み姿勢（提示されたテーマについての作業・記述物の作成・意見発表・意見交換等を積極的に行っているか） 3 疑問解消への努力（講師に対して積極的に質問を行う等、わからない部分を無くす努力を行っているか）				
受講にあたって の留意事項	自分の頭で考えること、他者と意見交換や協議を行い視野を広げること、一人で行う作業、協働作業などを柔軟に行う姿勢を大切にすること。				
使用教科書・参考 文献等	書名	著者名・出版社	ISBN		
	乙4類危険物取扱者 受験教科書	藤本博之・向学院出版			